

小学校 4年 社会科

考える
表す

書く
読む

育成したい
国語力

目的に応じ、理由を明らかにしながら、自ら考えたことや推論したことを書く。中心点を明確にし、ポスターの特徴を生かして表す。不思議に思うこと、分からないことに気づき、理由や根拠を探りながら読む。

単元名 「健康な暮らしをささえる」 - 小単元1 ごみのしよりと活用 -

単元目標

- ・ 地域の人々の生活にとって必要な廃棄物の処理の様子に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。
- ・ 地域の人々の生活にとって必要な廃棄物の処理の様子から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の人々の健康を守るための諸活動の特色やそれらと地域の人々の健康な生活の維持と工場との関連について考え、適切に判断する。
- ・ 地域の人々の生活にとって必要な廃棄物の処理の様子を的確に見学したり調査したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。
- ・ 廃棄物の処理にかかわる対策や授業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。

国語力育成の視点

小学校社会科、第3・4学年の能力に関する目標は、「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連等について考える力を育てるようになる。」ことです。

ここで求められている、資料を読み取り、他の情報と関連付けて考えたり、比較して考えたり、学んだことや考えたことを表現したりする力は、国語力と大きなかかわりをもっています。本指導例では、グラフからの情報の読み取りやワークシートに書くことを通して考える力を育成していくことなどを中心に提起をします。

また、ポスターの特徴を生かして、中心点を明確に効果的に表す力の育成も期待ができます。

単元の流れ

第1次(2) 暮らしとごみ

・家庭ごみについて調べ、学習課題をつかむ。

第2次(6) ごみのゆくえ

・大量のごみがどのように処理されているのかを調べ、分かったことをまとめる。

第3次(4) (本時1・2/4) ごみをへらすために

・ごみをへらすためにできることを考え、作戦を立てる。
・実践化

本時(2時間扱い)の目標

資源を大切にし、環境を守るために、ごみを減らす必要があることに気づき、自分達にできることを考える。

本時の展開

導入

自分の地域の人口とごみの量の移り変わりのグラフを見て分かったことを発表する。
本時のめあての確認

ごみをへらすために、自分達にどんなことができるだろう。

展開1

なぜごみが増え続けているのか、今までの学習や自分の生活経験に関連付けて、自分の考えを書き、ペアで話し合う。

- * 無駄なものを買っていないか。
- * まだまだ使えるものを捨てていないか。
- * 捨てる前に工夫して使っているだろうか。

展開2

【へらす】【生かす】をキーワードに、両方の視点から、自分達にどんなことができるか、ペアで作戦を考えたり、調べたりする。

ポスターに表す。
ポスターに基づいて報告し合う。

まとめ

実践化への意欲と見通しをもつ。

ノート・ワークシート

ごみをへらすために、自分達にどんなことができるだろう。

ごみが増えつづけるのはなぜだろう。

【自分の考え】

友達の考えを聞いて

へらそう、生かそう
ごみ大作戦!

【根拠・理由】

視点 ①

本時の学習課題を明確にもつために、グラフから、増え続けるごみの情報を正確に読み取り、「なぜ増え続けるのか」という疑問を持ち、考える力を育成することができます。

視点 ②

今までの学習や、自分の生活経験に関連付けて、自分の考えを整理します。根拠を明確にして書くことが考える力を育成することに役立ちます。友達とペアを組み、互いの考えと根拠を説明し合うことで、自分の考えを修正することもできます。

視点 ③

自分達で作戦を考えたり、その作戦が効果的かどうか情報を集めて吟味したりします。作戦が決定したら、自分達の考えをポスターの形式に簡潔に表現することも大切な国語力です。